

Tコース <下柚野・大鹿窪地区> 柚野の里をめぐる南コース

— みどころ —

縄文時代草創期の集落址として国史跡に指定されている「大鹿窪遺跡」や、芝川の水を引く大堀用水など、富士山の眺望を楽しみながらめぐる。

みどころポイント 大鹿窪遺跡 用水路 石造物 



200m

⑦芝川ポットホール

⑥大堀用水

⑤熊野神社

④水沢の道祖神

③三澤寺

②福石神社

①大鹿窪遺跡

⑧甲石・櫃石

⑨ヒイラギ

スタート

ゴール







縄文の里大鹿館駐車場 P

スタート&ゴール

大鹿窪 1556

縄文の里大鹿館 駐車場

距離: 約4.5km 所要時間: 約2時間

マークの凡例: 観察ポイント ● ルート — トル  駐車場 P 寺院  神社 
 石造物  富士山眺望ポイント  湧水 

— コースのみどころ —

①大鹿窪遺跡

国指定史跡。約13,000年前の縄文時代草創期の遺跡で、十数基の竪穴住居址や大量の縄文土器・石器等が発見された。竪穴住居による集落としては国内最古級のものであり、住居数も同時期では最多となっている。人々がそれまでの洞窟・岩陰での生活から開けた平地での定住を始めた頃の様子が見られる貴重な遺跡である。

②福石神社

大鹿窪の氏神。富士山本宮浅間大社と縁のある神社で、かつてはその摂社であった。また、福石神社の禰宜は浅間大社神職の甘葛太夫が兼ねており、浅間大社の流鏝馬祭には大鹿村で精製した甘葛を献上していた。境内には、この他に八坂神社と天神社が合祀されている。

③三澤寺

寺伝によると、開基は三澤院日弘(三澤小次郎の孫・昌弘)、開山は日蓮高弟である六老僧の一人・日朗という。三澤小次郎は、鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』に記載される人物である。三澤寺は、元は三沢の坊ヶ谷戸にあったが、明暦3年(1657)に現在地に移転したという。

④水沢の道祖神

文化12年(1815)に造立された双体道祖神で、男神像(右)は笏を持ち、女神像(左)は合掌している。隣には「敬地神」と記された地の神が祀られている。旧芝川町域では地域で地の神を祀る所が多くあり、春には豊作を祈り、秋には収穫を祝う祭りが行われる。

⑤熊野神社

神社裏手の山肌や境内に豊富な湧水がある。羽鮒丘陵のふもとには同様の湧水が幾つもあり、豊富な水が地域の人々の生活を支えて来たと考えられる。

⑥大堀用水

大堀用水の水路脇に水神碑がある。大堀用水は、大鹿窪・西山・安居山・沼久保を灌漑する用水である。猫沢の燕堰で芝川から取水し、西山までは大堀用水、安居山隧道(トンネル)を抜けて安居山・沼久保を安沼用水(安居山用水)として流れ、流域を灌漑する。

⑦芝川ポットホール

芝川の川底の岩盤にいくつもの丸いくぼみが見られる。これは、水の流れの作用により小石が岩をえぐって出来たもので、ポットホール・甌穴と呼ばれる。ここのポットホールは静岡県の天然記念物に指定されている。

⑧甲石・櫃石

道端の平たい大石は「櫃石」と呼ばれ、富士の巻狩にまつわる伝説が伝わっている。頼朝がこの大石の上に鎧櫃を置き、近くに甲を置いたという。櫃石の傍らの田んぼの隅に「甲石」がある。

⑨ヒイラギ

富士宮市指定保存樹のヒイラギの大木である。ヒイラギはモクセイ科の常緑樹で、葉の縁に刺がある。老木になると刺がなくなる。邪鬼の侵入を防ぐとされ、庭木として植えられることが多い。